



S.Setoguchi

THE SILK ROAD STAKES

第30回 シルクロードステークス (GⅢ)

1着 2着 3着 4着 5着
本賞 41,000,000円 16,000,000円 10,000,000円 6,200,000円 4,100,000円
付加賞 602,000円 172,000円 86,000円



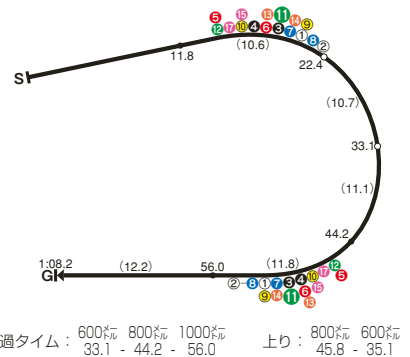
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

4歳以上、2024.1.27以降2025.1.26まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

2025.2.2 京都 曇・稍重 芝1200m (国産) (特指)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り 600m (増減)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑪	エイシンフェンサー	牝5	55	川又賢治	1:08.2	7-7	34.0	480(+4)	27.4⑩	吉村圭司(栗東)	107
2	⑭	グランテスト	牝5	53	団野大成	1½	5-5	34.6	472(-2)	30.5⑩	今野貞一(栗東)	99
3	⑩	ウインカーネリアン	牡8	59	三浦量成	½	3-3	35.0	522(±0)	8.5④	鹿戸雄一(美浦)	110
4	③	カピリナ	牝4	54	戸崎圭太	クビ	9-9	34.3	478(±0)	4.1②	田島俊明(美浦)	99
5	③	メイショウソラフネ	牡6	57	酒井 学	アタマ	7-7	34.5	452(-2)	10.5⑤	石橋 守(栗東)	
6	⑦	ブルバレイ	騾6	57	高杉史郎	アタマ	14-14	33.9	502(-2)	121.4④	須貝尚介(栗東)	
7	⑫	マイヨアポア	牝7	54	北村友一	クビ	15-15	33.6	480(-8)	200.4⑩	和田正一郎(美浦)	
8	④	スリーアイランド	牝5	52	幸 英明	ハナ	11-9	34.4	490(-2)	26.5⑩	中竹和也(栗東)	
9	②	ビューロマジック	牝4	56.5	坂井瑠星	クビ	1-1	35.7	454(±0)	3.6①	安田翔伍(栗東)	
10	⑤	レッドアヴァンティ	牡6	55	A.L.メートル	1¼	12-12	34.4	500(+10)	62.0⑩	尾関知人(美浦)	
11	⑩	ジャンゴロ	牡6	57	中井裕二	1¼	12-12	34.6	482(+4)	129.1⑩	森 秀行(栗東)	
12	⑥	ダノンタッチダウン	騾5	56	吉村誠之助	ハナ	9-9	34.8	538(-6)	95.1⑩	堀 宣行(美浦)	
13	⑦	クファシル	牡5	55	松山弘平	1¼	5-5	35.7	502(+10)	13.6⑩	池添 学(栗東)	
14	①	ベアボルクス	牡4	57	岩田康誠	2½	3-3	36.3	480(+2)	4.3③	梅田智之(栗東)	
15	⑤	セントメモリーズ	牝4	53	石川裕紀人	クビ	15-15	35.0	492(+12)	19.4⑦	斎藤 誠(美浦)	
16	⑧	シロン	牝6	53	田口貴太	2	2-2	37.0	534(+2)	78.8⑩	小栗 実(栗東)	
除外	⑬	ソンシ	牡4	57.5	川田将雅				502(±0)		中内田充正(栗東)	

単勝⑪2,740円(9%) 複勝⑪690円(9%) ⑭820円(10%) ⑩310円(4%) 枠連⑥-⑦4,550円(18%)
馬連⑪-⑭23,090円(49%) ワイド⑪-⑭6,270円(49%) ⑩-⑭2,340円(29%) ⑩-⑭2,840円(34%)
馬単⑪-⑭47,190円(103%) 3連複⑩-⑪-⑭40,080円(116%) 3連単⑪-⑩-⑭325,810円(819%)



通過タイム： 600m 800m 1000m
33.1 - 44.2 - 56.0 上り： 800m 600m
45.8 - 35.1

アラカルト

- ・川又賢治騎手はJRA重賞初勝利
- ・吉村圭司調教師はシルクロードS初勝利。JRA重賞は通算11勝目
- ・ファインニードル産駒はJRA重賞通算2勝目
- ・5歳馬の勝利は18年ファインニードルに続く通算10回目
- ・牝馬の勝利は23年ナムラクレアに続く通算11回目
- ・ソンスは馬場入場後に疾病[右前肢跛行]を発症したため競走除外
- ・セントメモリーズは柙内駐立不良[突進]。柙外に跳び出し馬体検査。前扉が破損したため外枠から発走

エイシンフェンサー *A Shin Fencer*

牝 黒鹿毛 2020.4.29生
北海道新ひだか町 木田牧場生産
馬主・株栄進堂 栗東・吉村圭司厩舎
馬名意味・冠名+剣術に長けた技能者

サンタマリアガールUSA系 A13

ファインニードル 鹿毛 2013	アドマイヤムーン 鹿毛 2003	エンドスウィープUSA マイケイティーズ
	ニードルクラフトIRE 栗毛 2002	Mark of Esteem Sharp Point
エーシンパナギア 青毛 2008	エイシンサンディ 鹿毛 1993	サンデーサイレンスUSA エイシンウイザード
	サンタマリアガールUSA 鹿毛 2002	High Yield Eishin Marianna

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA M3×S4
Forty Niner S4×M5 Mr.Prospector S5×M5

INTERVIEW

木田圭介代表(木田牧場)

ずば抜けていい馬でした

牧場でレース実況を見ましたが、皆でこの結果に驚き、喜びました。着実に力をつけてここまで成長してくれたエイシンフェンサーと、この馬に携わってくださった方々に感謝いたします。母馬は500%を超える雄大な馬体をしていて、毎年いい仔を産んでくれます。フェンサーは母馬に似てしっかり身がつまったタイプで、きょうだいの中でもずば抜けていい馬でした。

S.Katsura



父ファインニードルは2018年シルクロードSの優勝馬。その初年度産駒にあたる本馬は3歳時の夏に2勝クラスを卒業した後も堅実に上位入着を重ねる一方、3勝クラスではなかなか勝ち切れないレースが続いた。それでも昨年7月、1年ぶりの白星を手にして軌道に乗り、今年1月のカーバンクルSでオープン初勝利をマーク。余勢を駆って挑んだこの日は、1勝クラスを勝ち上がったときから主戦を務めてきた川又騎手ともども嬉しい重賞初制覇を果たし、再び父仔制覇に挑む高松宮記念の新星に名乗りをあげた。

父ファインニードルは2018年シルクロードSの優勝馬。その初年度産駒にあたる本馬は3歳時の夏に2勝クラスを卒業した後も堅実に上位入着を重ねる一方、3勝クラスではなかなか勝ち切れないレースが続いた。それでも昨年7月、1年ぶりの白星を手にして軌道に乗り、今年1月のカーバンクルSでオープン初勝利をマーク。余勢を駆って挑んだこの日は、1勝クラスを勝ち上がったときから主戦を務めてきた川又騎手ともども嬉しい重賞初制覇を果たし、再び父仔制覇に挑む高松宮記念の新星に名乗りをあげた。

父ファインニードル

北海道日高町 ダーレー・ジャパン・ファーム有限会社生産 中央、香28戦10勝(スプリンターズS_{G1}、高松宮記念_{G1}、セントウルS_{G2}2回、シルクロードS_{G3})、最優秀短距離馬、19年から供用
〔代表産駒〕エイシンフェンサー(本馬)、カルチャーデイ(ファンタジーS_{G3})、クルゼイロドスル(ジュニアC・L)、スカイキャンパス(函館2歳S_{G3}3着)、ウメムスビ(カンナS_{G3})、ダイジョバナイ(ぎふ清流C)

母エーシンパナギア

北海道浦河町 栄進牧場生産 中央14戦3勝、地方12戦1勝
ロードエース(15 牡父エーシンフォワードUSA)中央26戦4勝(やまびこS、京葉S・L3着、草駄天S_{G3}3着)、地方8戦2勝(16 流産)
ヨシノバナギア(17 牝父エスケンデレヤUSA)中央14戦1勝
エイシンギアアップ(18 牡父エイシンフラッシュ)中央19戦4勝(B Sイレブン賞)、地方13戦2勝
エイシンヌプリ(19 牝父パイロUSA)中央6戦1勝、地方20戦4勝(フルールC2着、エーデルワイス賞_{JpnIII}3着、フローラルC3着)
エイシンフェンサー 本馬(20 牝父ファインニードル)中央19戦6勝(シルクロードS_{G3}、カーバンクルS_{G3}、TVh賞、HBC賞)
獲得総賞金146,239,000円
エイシンボーノ(21 牡父マインドユアビスケッツUSA)中央4戦0勝、地方4戦1勝
エイシンナザレ(22 牝父ゴールドアクター)中央3戦0勝⑨
(23 牝父エイシンフラッシュ)
(24 牝父ルヴァンスレーヴ)

祖母サンタマリアガールUSA

中央1勝、地方1勝。03年輸入、17年用途変更
エーシンパナギア(08 前出)
エーシンスパイシー(10 牝父クロフネUSA)中央0勝、地方14勝(新春賞)
エイシールジーナ(14 牝父タートルボウルIRE)中央0勝、地方7勝

曾祖母エイシンマリアンナUSA

中央3勝(シクラメンS_{G3})、98年輸入、11年用途変更
サンタマリアガールUSA(02 前出)
エーシンマリボーサUSA(04 牝父Pulpit)中央1勝、地方1勝、エイシンホクトセイ(北海道2歳優駿_{JpnIII}3着)、ウインスノーライト⑨(近江特別)の母

人気薄の5歳牝馬がワンツー決着

年明けに組まれた1カ月の中京開催を挟み、関西ブロックの戦いの舞台は再び京都へ。その開幕を飾るシルクロードSは、有力候補と目されていたソニンが本馬場入場後、右前肢跛行を発症して競走除外となり、いっそうの混戦ムードに包まれたなか、昨年の葵Sの1、2着馬ビュローマジック、ヘアポルクス、2、3勝クラス特別を連勝中のカピリナが拮抗した支持を集め、4歳馬が中心勢力を形成した。しかし1、2着を占めたのは人気薄の5歳牝馬。9番人気のエイシンフェンサーが10番人気のグランテストを従え、鮮やかな強襲を決めた。

現役屈指のダッシュ力を誇るビュローマジックが、内枠を引いたこの日も他馬に競り込む隙を与えずに先制。単騎の形に持ち込んで軽快に飛ばす。ヘアポルクスは好位のインにつけ、エイシンフェンサーの川又賢治騎手は自然体で中国を追走。カピリナはその2馬身ほど後ろで末脚勝負に構えた。

前半600mの通過が33秒1。少し渋った馬場(稍重)にやや速いラップを刻んで逃げたビュローマジックは、楽な手応えと2、3馬身差のリードを保って4コーナーを回る。その脚勢が鈍った直線半ばでは、離れた好位から差を詰めてきたウインカーネリアンとグランテストが襲い掛かったが、4コーナーから仕掛けられ、エンジンに火がついたエイシンフェンサーはこれらを凌駕する末脚を発揮。一気に先頭へ突き抜けた。